

「絵を通して子どもの心を読み解く」

社会福祉法人 雅福社会 みやび保育園
〒900-0003 那覇市安謝1丁目8番24号

助成事業の概要

○目的・・・「子どもの心を理解する」子どもの自由画を通して、子どもの心情を理解できる保育者を目指して、ワーク、実技実習で保育者自身の「今ここ」の心理を読み解くことで一人一人の子どもの育ちの理解につなげていき、子どもと親の気持ちに寄り添えるように学びを深めることを目的とする。

○時期・・・时期的にはとても良かったと思っています。1回目と2回目の間隔をあけなかったことも良かったと思っています。

○内容

1回目の講習会（5月27日 日曜日）

午前の部では、主に先生の次のような講話でした。

- (1) 子どもは絵で語る。
- (2) 子どもの絵の中に葉って感じる心
- (3) 子どもが絵を描くときの留意点
- (4) 子どもの絵から見える特質でした。

午後は実習で

- (1) 矢印法
- (2) 九分割の色塗り
- (3) 点描写
- (4) 魚を泳がせる（海、川、池、金魚鉢等）

2回目の講習会（6月17日 日曜日）

午前の部では、

- (1) 子どもが想像するのはなぜ重要でしょうか。
- (2) なぐり書きからの出発
- (3) クレヨンダンス（遊びが木を楽しむ心）
- (4) モチーフにも象徴的意味がある

午後の部の実習では、

- (1) 言葉の庭造り
- (2) カラーヒストリー
- (3) そうさんと遊ぶ
- (4) バウムテスト（自分の木を描きましょう）

事業の成果

乳幼児の心身の発達には、環境に大きく影響を受けると言われています。特に保育士は人的環境として身近で、長時間子どもと接しているため子どもに与える影響の大きさを考えると、今まで絵の指導と気軽につかって、「画用紙全体に描けない子に対して、全部埋めた方がいいよ」「色に対しても保育者が修正させようとしたりしていたが」子どもの「今ここ」「あるがまま」の気持ちが出てくるだけであり、それをしっかり受け止められるように・・・と思いがあります。

子どもそのものを見つめて伸ばしていくには、今できない小さな課題を出来るようにすることも大切ですが、「どんな大人になって欲しいか」をイメージした保育・子育てこそ大切だと思います。楽しいと思えることを沢山見つけてあげる。沢山経験させてあげ、主体性を持って自ら行動できるような保育が出来るようにしていきたいです。その為には各保育園で職員全体で子どもの情報を共有して、子どもの行動や絵の中から、子どもの小さな心の変化を見逃さずにできるような自分づくりに努力していきます。今回の研修の成果として、それぞれが課題を見つけることができましたのと、「無指導の指導」に心がけていきたいと

思っています。

以下、参加者の感想から

○絵を上手、下手でとらえるのではなく、自由に描いたものが子ども達の個性として受け止めてあげることにつながることを感じた。絵に対する苦手意識の子には、色遊びから入りとにかく楽しませることが大切。

○今回の研修を受けて、子どもの絵の一つ一つにその子の今の状況や感情が現れていることがわかりました。

ることができました。学びは、継続することで保育士自身が自信を持って、それぞれが指導アドバイザーとなるまで、学びを深めていくことを痛感しました。

成果の広報、公表

各保育園のホームページや園だより、クラスだよりで掲示板に掲示しましたところ、保護者からの声が届きました。(1) 子ども達のために日曜日
も研修で大変でしたね。

(2) ありがたい、よりよく子ども達を理解できるように努力していることが見えてきます。

子どもの心や自分自身の気持ちや感情を知ること
で、「子どもの育ち」「保護者への保育支援へと役に立てていきます。学んだことを保護者にも伝えて子ども理解につなげ、より自然体で関われるようになりたいです。また、今回参加しなかった他の園にも、学びの成果を伝え、共に学べる場を共有できたらと願っています。

沖縄では、本土から専門的な講師をお招きしての研修会を行うことは、旅費、宿泊費の負担が大きく、今回のような助成金を利用させて頂いたことに心より感謝申し上げ、保育園のホームページにも公表していきます。

今後の展開

助成金のおかげで、参加園の費用の負担が軽くなりました。内容は深く自分の内面、子どもの心理を学ぶことが出来まして保育の質の向上に役立